

令和7年度第7回千曲市教育委員会定例会会議録

1 日 時

令和7年10月29日（水）午前9時から午前10時36分まで

2 場 所

千曲市役所 302会議室

3 会議日程

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 報告事項
- 4 その他
- 5 閉会

4 議 題

○報告事項

- | | |
|---------|--------------------------|
| 専決第 3 号 | 千曲市教育振興審議会委員の委嘱について |
| 報告第26号 | 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について |
| 報告第27号 | 令和7年9月千曲市議会定例会報告について |
| 報告第28号 | 教育長、部・課長報告について |
| 報告第29号 | 行事の共催・後援について |
| 報告第30号 | 11月の各課の行事予定について |

5 その他

- (1) 次回定例会の開催について
- (2) その他

6 出席者

○委 員

小松信美教育長

中村洋一職務代理者 松田祐子委員 新海敦子委員 吉味淳委員 若林直美委員

○教育委員会担当部局

山崎こども未来担当部長（こども未来課長事務扱い）、小林教育総務課長、湯原生涯学習課長、久保第一学校給食センター所長、松峯第二学校給食センター所長、相沢保育課長、若林主幹兼総務係長、北沢総務係主査

1 開会 こども未来担当部長

2 教育長あいさつ 教育長

3 報告事項

【専決第3号】

千曲市教育振興審議会委員の委嘱について

－資料に基づき説明－（教育総務課長説明）

質疑なし＜承認＞

【報告第26号】

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

－教育総務課長説明、教育長補足説明－

委員 自己有用感のところで、「中学3年生でも学校の先生との温かく良好な関係の中で」とありますが良好な関係を築けているという話を聞かない。男子と女子と差が出るが特に女子生徒ではあまりいい話を聞かない。陰で言ってしまう。「良好な関係が築けている」と判断するのはどうかと思います。

教育長 学校では結果を全面的に信用しているわけではない。実態は十分把握していると思います。中学ならではの結果かと思っています。学校ではこの結果を鵜呑みにしていない。校長会で周知していきます。

委員 朝食を食べてこない児童生徒に指導はできると思いますので、生活習慣の数値については気をつけてほしいです。

教育長 100%にしたいです。事情を抱えている家庭があります。学校では全家庭にお願いするしかない。個人情報との関係で個々の家庭にお願いすることができないのでスクールカウンセラー、ソーシャルワーカーを通じてお願いしていくことになる。

委員 子ども達の学力と言語に関する力がすごく関係性があるのではないかと。学力テストの問題を読み解く力、書いてあることと提示されている資料を関連付けて自分の言葉で回答していくということが、千曲市の結果を見ても上手くいっていないことがわかります。ベネッセの調査結果によれば、子ども達の読書量が減っている。文字を読む、書く、人の話を聞く、自分の気持ち状況を言語化して相手に伝えるということの力が付いてきていないことを危惧している。もう一度現況を掘り下げて、どんなことに手を入れていけばよいか、生活の質も含めて検証する必要があるのではないかと。

関連して、文部科学省の調査結果によれば、タブレット端末の活用について、ICT 機器活用の効力感が高い子どもは、自分と違う意見について考える力、自分の考えた事を言語化できている。

家庭学習において、サポートする家庭の力が無くほとんど家庭学習をやらないうで一日一日過ぎてゆくような、そんな状況がかなり出てきています。学校の先生達もまた色々考えてくださって、「ノート1ページ、漢字練習とか算数の問題とか、色々やりなさい。」という事で出してくださると、今度は何が起きるかと言うと、そのノート1ページ1ページにしっかりと漢字でマスを埋めるのではなくて、1ページに1つとか2つの漢字、その上とても画数の少ない漢字を書いて、1ページを終わらせるとか、その様な事が起こっています。この問題をどうしたらいいのか？私もどんなふうに手を入れていけばいいのか？現在少し考えているところです。それと同時にやはり子ども達のスマホやタブレットを家庭の中で使用する時間が、非常に増えてきていて、学習よりもスマホに時間を取られていて、3年生、4年生辺りでSNSに夢中になり、中々そこから抜け出せずにいたり夜寝る時間がどんどん遅れていたりしている。結果、朝起きられない。朝食も食べずに学校を飛び出して行く、そんな子ども達も増えてきているように思います。そんな現状で根本的に学力をつける前にもう一度考えなければならない事があるのかと今回強く思いました。調査の3ページのまと

めのところに子ども達の質問紙調査のところで区分・自己有用感・生活習慣・家庭学習習慣と区分で簡単にまとめてありますが、最初の自己有用感と区分されているところに「自分にはいいところがあるのか？」それから「先生は認めてくれるのか？」と2項目が上げられていますが、自己有用感というのは少し違うと思っていて、例えば、文科省調査のまとめを見てみるとこの児童生徒質問紙調査のところを大きく5グループに区分して、調査項目を分析していました。おそらくこの自己有用感に関わるのところとは、文科省で言えばおそらく、ウェルビーイングに関する状況調査のところに入ってきていて、子ども達の質問紙調査の項目は70項目あり、その中の5項目から6項目ぐらいが、ウェルビーイングに関する質問になっていたかと思います。その辺もう一度掘り起こして頂いて、これ以外のところで子ども達がどんな回答をしていたのか？特に人の役に立つ人間になりたいと思うか？幸せな気持ちになる時があるか？と言う様な二つの質問項目が確かあるはずなのですが、千曲市のお子さん達がどんな回答をしていたのか？というところも知りたいと思っています。根本的に子ども達の生活環境であったり、学習環境をもう一度紐解けるところまでで結構ですので、少し紐解いて頂いて、学校として考える事、家庭と一緒に考えるべき事と本当に千曲市を上げてやっていった方が良いかと今回少し感じております。

教育総務課長

先日の学力向上推進委員会での情報交換である先生が、「言語がうまく整理が出来ない」「まとめられない」「話がうまくかみ合わない」など、そういう児童が特に低学年とところで見られるので学校でも力を入れていきたいというお話をお聞きしました。学力調査の出題も単に漢字を「書く」「読む」ものではなく、出題傾向としては、「身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容」や、「実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識や技能」等、また、「知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力」や、「様々な課題解決のために構想を立て実践し評価・改善する力」等を一体的に問うようになっている。学校では、問題を解いて答えがただしければ終わりではなく、その問題解く過程を先生に説明する、また、クラスの友達に説明するなどの学習過程に力を入れるとおっしゃる先生もいました。自己有用感・生活習慣については、昨日開催した「相談支援者関係者連絡会議」で講演いただいた赤塚先生のお話でも、「自己肯定感を高めるためには、まずは、生活リズムを整えることで「からだ脳を育てる」といったお話がありました。学校でも、保護者とお話しする機会があればお伝えしてく。また、家庭学習では、例として、附属中では、家庭学習にポイント制を取り入れて自ら学習を選んで行うなど、他校の事例も効果的であれば取り入れることも検討していければと思っています。作業的な学習も大事ですが、自分で探求的に進めていくところに力を入れていきたい。

教育長

実は私も危惧しているところもあって、学校だけではなかなか難しい。我々「親」、今の若い親もそうなのですが、全く学校でそういう探究的学習をしてきた経験がない。探究的な経験がない。どうやったら家庭でそういう事が出来るのか？全く親もわからない。これから色々な機会をとらえて、保護者に理解をしてもらい「今こういうことをやっているのだよ。」「こういうことでやっているのだよ。」と理解をもらうことも必要だろうし、あるいは学校保護者だけでなく、社会教育、生涯学習の中で学習をしていくところでもこれから教育委員会として大事にやっていかなくてはいけないと思っています。システムのやっていかなくてはいけないのか研究していかなければいけないところなのですが、いずれにしてもその様な現実があるということで、各学校本当に模索している。その様な段階ではないかと思っています。全国学習状況調査の学校ごとのデータは全て学校にっておりますので、そのことについて、各学校の学力調査委員が中心に全校で「うちの学校の子供たちの今の状況・傾向どうやったらいいのか？」というところをずっと共有して推進をしているという様な状況でな

いかと思っております。

委員

探究するという事が今の学習の方向になってきて、やはり子ども達に考えさせる、色々なことを発展させる、そういうことで学習を成立させていこうという流れにはなっているのですが、昨日、講演された赤塚先生ともお話をしますが、それが出来る子たちというのは、しっかりとした言語能力を持っている子ども達でしか私は出来ないと思っていて、やはり子ども達に基礎的なこと・基本的な学習に関しての大事なことというのは、どこかできちんと教えていくということも、実は大事な作業で、そこを外したまま「考えて」とか「何か見つけて」と言うのは、そもそも無理な話なので今の学習における流れと根本的なことというのは、抑えていかないと子ども達の力は差がついている様な気がしています。

教育長

私も同感です。校長会でも、基礎基本はとても大事にしてください。その教科、あるいは領域で子ども達にどのような力を付けるのか？みんな学習指導要領に書いてあるのでそのことをしっかりと踏まえた上で行っていかないと形だけの探究をしても力は身に付かないと言っています。基礎基本をやる時には、一斉指導で十分成り立つと思っております。繰り返し、繰り返しやっていかないと沢山の学習手法の言葉が飛び交ってきていますので、それに踊らされてしまうと本当にそういう流れに行ってしまうので、その辺は大事にしていきたいと教育委員会として気を付けていきたいと思っております。

委員

CBT 化がもう3年以内に近づいているのですが、結果の分析をどうするのか？中学3年の理科で22問中16問が公開されていないという話がありましたがこれはテストの世界では、テストを行った後、公開する国の方が少ないです。1回公開してしまうと死んだ項目と言われるのです。公開してしまうと再度出せない事があるので、なので今後は、国際標準化していく、そうすると全部のテスト項目が公開されない。少なくとも何年か公開されない。データベースで控えて、繰り返し提示するということになると思うのですが、その時に直接的に「この問題はこうです。」という事がなかなか言いつらくなってくる。分析し難くなってくるのですが、おそらくテスト項目そのものが提示されないので、このテストは何を計ろうと思っているのか？テストポイントとか、専門的に言うと学習行動目標ですけど、学習行動目標のリストが提示されると思いますので、学習行動目標のリストとおりに従って、例えば二桁の足し算で繰り上がりのあるものについてというものがあり、問題が出るとそれが出来ているのか？出来ていないのか？ということで指導に結びつくのか？と感じがしました。

来年から英語が入ることはどういうシステムでCBTを受けるのか？少なくとも英語が入るとテスト項目がマルチメディア化しますから、少なくとも最低限ヘッドセットが必要になってくる。ヘッドセットが必要になるということは個人で買わせるのか？用意するのか？それからこれはデジタル教科書の開発の業者から聞いたのですが、印刷を掛ける前にデジタルにしているのだから、PDFで出せば丸儲けではないですか？と聞いたら、そうでなくて、コンピューター会社のプラットフォームがそれぞれ違って教科書会社が自分のプラットフォームで出したいからPDFで汎用化したものは出たくないということなので全てのファイルがその教科書会社の特化したものになって、物凄く高価になってしまうのです。今度は、GIGAスクールで1人1台持っているコンピューターが更新時期に当たると思うのですが、Windowsの更新も含めて、そういった対応をしていく、それからハードもヘッドセットがいる。また、スクリーンも統一したものではないと、例えば、細部を問う英語の問題などはそれがぼやけて見えなければ、テストにならないわけで、そういった1人1台端末の更新について、こちらの方の対応をしてくれるかどうか？

学校の授業以外に端末を使用しているか？勉強をしているかどうか？これは教育格差にかなり直結する問題であって、その様な項目があるのか？(例えば、

教育総務課長	学習塾に行っているのかどうか?) 来年は英語、再来年には全教科 CBT で行われる予定ですが、英語で使用するヘッドセットについては、今のところ情報はお聞きしていないが、今後、国や県による調査や説明会、資料もメール等でも届きますので、注視していきたい。今後、すべて CBT での調査となり、問題が公開されない中で IRF (項目反応理論) による比較になっていきますので、その辺についても、県からの説明もあるかと思います。1 人 1 台端末の更新については、来年度に中学校の更新を行い、令和 9 年度に小学校の更新を行う予定ですが、現在は、県のワーキンググループに参加して、各メーカーからの製品説明、仕様書を作成していくと聞いておりますが、学力調査に影響する部分まで話し合が進んでいるかは不明です。塾に関しては、塾に特化した質問はないと思いますので、今後、学校で把握しているのかといったところも確認していきたいと思います。
教育長	塾に関しては質問項目に入っています。学校の方では全部クロス集計の結果も出ていますので、その辺の結果は、わかっていると思います。
【報告第 27 号】	
委員	令和 7 年 9 月千曲市議会定例会報告について エアコン設置の問題で、体育館のエアコンの問題が出ていますが、避難所は大体、体育館でパーテーションを切って、段ボールのベッドを入れたりしているのですが、教室を使えない根拠はあるのでしょうか。
教育総務課長	体育館だけが避難所ではなく、学校全体が避難所になっています。全ての学校が福祉避難所にも指定されていますので、高齢者や妊婦、小さいお子さんがいる世帯については、必要に応じて教室を使うこともあります。また、水害などで体育館が使えない場合には、校舎の 2 階以上に避難してもらうことになります。
教育長	ただし、条件付きで、多くの方が教室を使ってしまうと子ども達の授業再開に大きい支障をきたすことから、出来るだけ教室は短期間の利用という形で限定されております。長期間になる場合には、他の公共施設や、あるいは仮設住宅とか、そういう様な所へ移動していくと、その様な文言が条件付きであったように思います。
委員	了解はしているのですが、全国のニュースを見ると体育館がいっぱい不平があったり、健康被害が出て、小学校の授業も再開されていないのに、何か快適なエアコンの入っている教室で避難しているのは少ないのです。現状で出来ることは、この間、更級小学校を見させてもらいましたが、空き教室が結構あるので、優先的に空き教室を使うとか、その様な事をまた災害の連絡を取っていただいて、お決め頂ければと思います。以上です。
委員	誰でも通園制度について、千曲市は 2 園ということですが保護者のニーズはどうですか。また、来年度からスタートする千曲市が今一番困っていることは何ですか。
委員	ニーズについてですが、国の算定式による量の見込みでは、それほど高い数字ではなかったため 2 園での実施としました。2 園で始めてみて状況をみながら考えていきたいと思っています。今一番困っているのは何処の市町村も同じですが保育士不足です。正規職員の採用を増やしたり、会計年度の保育士採用を進めていますが、受け皿に対して保育士が足りていない状況です。本来業務の保育士を誰でも通園制度の保育に回してしまうと、待機児童が発生してしまう可能性があり本末転倒になってしまう。
委員	研修を受ければできる制度があるが、有資格者の方にやっていただきたいです。
保育課長	保護者は有資格者での保育運営を求めていると思います。来年度 2 園で行う誰でも通園制度の保育は有資格者の配置を考えています。
委員	千曲坂城クラブの月会費上限 3,000 円の根拠は。
教育総務課長	これまで事務局で全国の先行事例や様々な検討を行い、運営委員会で議論して

決定した。4,000 円、5,000 円等といった意見がありましたが、5,000 円では保護者としては高額である。国でも受益者負担の目安を示すと言っているが、全国的には月額 3,000 円未満が 8 割以上、月額 4,000 円未満が 9 割以上を占めています。

教育長

月会費は、来年度の年間の指導者謝金を算出し、不透明な国の補助金を 0 と考えて計算し、シミュレーションして 3,000 円となった。根拠は持っている。

教育総務課長

年会費と月会費で、指導者謝金に相当する 2,500 万円程度を見込んでいます。年会費 3,000 円のうち 800 円は保険代になるが残りは指導者謝金に充てる。それ以外にも事務局の人件費、引率の旅費、消耗品、会費徴収アプリ（スクペイ）の使用料、学校間移動（タクシー代等）を含む専門部への補助金などが必要になりますが、千曲市、坂城町からの予算から支出することになる。財源としては他に賛助会費等もあります。国の補助金が継続されれば、各専門部の備品購入などに充てることができる。持続可能なクラブ運営をするために月会費を導入します。

委員

全ての部が 3,000 円なのか。

教育総務課長

上限 3,000 円ですので、活動が少ない専門部は 3,000 円より少なくなります。

委員

遠征の費用はどこからでるのか。

教育総務課長

遠征の費用、引率者については、旅費の予算から支出されます。

【報告第 28 号】

－教育長、部・課長報告について－

－教育長分について、教育長説明－

委員

給食関係で昨今、米、卵の値上がり、物が無い状況で費用面、食材確保で困っていることはないか。

第 1 学校給食センター 所長 物価高騰分については公費負担しています。

委員

物がなければ給食が成り立たない状況で、食材の調達など大変だと思うが、適宜対応していただければと思います。

【報告第 29 号】

行事の共催・後援について

質問なし

【報告第 30 号】

11 月の各課の行事予定について

質問なし

4 その他

（１）【次回定例会の開催について】

－次回定例会日程（11/26）について－ （係長説明）

（２）その他

令和 7 年度長野県都市教育委員会連絡協議会総会審議事項の書面決議について（係長説明）

令和 7 年度更埴都市教育委員会連絡協議会視察研修について（係長説明）

教育委員会への寄附について（係長説明）

千曲坂城クラブだよりについて（教育総務課長説明）

オレンジリボンについて（こども未来担当部長説明）

パープルリボンについて（人権・男女共同参画課長説明）

5 閉会

こども未来担当部長